

おいしい水の証明 美川の水 白山美川伏流水群



白山美川伏流水群 平成の名水百選に認定 (平成20年6月)

認定後、平成22年8月に白山美川伏流水群のほぼ中央に位置する「大浜の水」を詳しく調査しました。

その結果は、、、

「おいしい水研究会」の7つの基準要件をすべてクリア！

そしてもう一つ、水道水の水質基準（快適水質項目）の13の基準もすべてクリア！
まさにおいしい水であると、はっきりと堂々と言えることが証明されました。



おいしい水研究会の要件をすべてクリア

詳細は裏面を参照

この要件をすべて満足しており、「大浜の水」は“おいしい”と認められました。

水道水の水質基準である快適水質項目もすべてクリア

詳細は裏面を参照

この基準をすべて満足しており、「大浜の水」は“快適性”に優れる水であると認められました。

白山美川伏流水群の湧水箇所の殆どは、ポンプなどで吸い上げているのではなく地下から自噴している湧水です。夏でも冬でも水温は13度ほどなので、夏は冷たく、冬は暖かく感じます。

昔は冷蔵庫代わりにスイカやトマト・ジュースやビール等を冷やすのに重宝しました。

「大浜の水」や「お台場の水」など主な湧水は定期的に検査も行っています。そのままでも飲用できます。そのまま飲料水として使用するか、お茶・コーヒーなどの水に使用するのも良く、ご飯もこの水で炊くとおいしいご飯になります。

あら与7代目社長も絶賛するおいしい水

猛毒のフグ卵巣の糠漬けなどの水産食品加工業を長年営業し、石川県の「食の観光スペシャルガイド」にも認定されている「あら与」の7代目社長：荒木敏明さんも美川の水について次ように話します。

「美川の水は、水の神様と言われる霊峰白山を源に、長い年月をかけて美川に湧き出る地下水で、適度にミネラルを含み、山間地で湧き出るような硬水ではなく、滑らかな軟水です。

昆布やカツオ・煮干などで出し汁を取るのにとても合う、和食の味を引き出す最適な水です。コーヒーやお茶、焼酎やウィスキーの水割りにも香りがよく引き立ち、とても良い水ですね。この水でご飯を炊いてもおいしいご飯になりますよ。」

長年、この水を使い、食に携わる食のスペシャルガイドからも絶賛の言葉があるように、昔から地域の人達だけが利用していて、周辺の人達には気づかなかった白山のお宝のような水です。白山より数十年から百年近くかけて地下をゆっくり流れて、その間に太古の昔から良好な地層である手取川扇状地で水が浄化されるため、この水は腐りにくいとも言われています。また、古い書籍でも、この水を飲むと諸病を癒し、妊婦に飲ませると安産になるなどの平安時代からの言い伝えもあります。



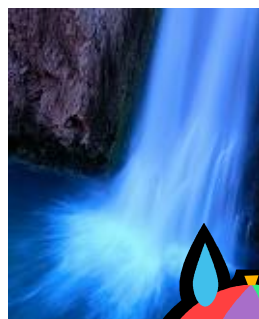
白山美川伏流水群「大浜の水」の調査結果

1、“おいしさ”に関する所見

厚生省が昭和60年4月に「おいしい水研究会」を組織し、「おいしい」とする水質要件を提示しました。この「おいしい水研究会」で提示された要件には、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、炭酸ガスなどが適度に含み、有機物や臭気はきわめて少ないことなどがあげられました。

この時に示された要件と、今回の分析結果で得られた「大浜の水」の値を比べてみると、全ての項目において、この要件を満足しており、「大浜の水」は“おいしい”と認められました。

“おいしい水”要件との比較



項目	単位	“おいしい水”要件	大浜の水
蒸発残留物	mg /	30 ~ 200	90
遊離炭酸	mg /	3 ~ 30	18
残留塩素	mg /	0.4 以下	無
有機物	mg /	3 以下	0.3 未満
硬度	mg /	10 ~ 100	49
水温		20 以下	13.7
臭気	度	3 以下	2 未満



2、“快適性”に関する所見

現行の水道水質基準の改定前に、水道水を対象にしてより質の高い水道水を供給するための目標として定められていた項目（快適水質項目）が定められていました。

この時に示された基準と、今回の分析結果で得られた「大浜の水」の値を比べてみると、全ての項目において、この基準を満足しており、「大浜の水」は“快適性”に優れる水であると認められました。

なお、快適水質項目の内、今回、明らかに該当しない項目である「2-メチルイソボルネオール」、「ジオスミン」、「ランゲリア指数」に関しては除外しました。

“快適性”基準との比較

項目	解説	単位	基準値	大浜の水
マンガン	地殻中に広く分布しており、軟マンガン鉱等に多く含まれる、水中にマンガンが多いと黒い色をつける。	mg /	0.01 以下	0.002
アルミニウム	地球の表面に存在する元素で3番目に多く、金属では最も多い。化合物である明ばんは昔から水の清澄剤として用いられている。濃度が高いと白濁水の原因となる。	mg /	0.2 以下	0.06
残留塩素	水中に塩素を注入し、水中に残留した有効塩素をいう。	mg /	1 以下	無
臭気強度	検水の臭気をほとんど感知できなくなるまで無臭味水で希釈し、その希釈倍率によって示される臭気の強さ。		3 以下	2 未満
遊離炭酸	水中に溶解している炭酸ガスのこと。	mg /	20 以下	18
有機物等	水中に存在する有機物等の被酸化性物質量を示すもの。	mg /	3 以下	0.3 未満
硬度	水中のカルシウムイオン（カルシウム硬度）及びマグネシウムイオン（マグネシウム硬度）の量を、これに対応する炭酸カルシウム量に換算したものの。	mg /	10 以上 100 以下	49
蒸発残留物	水を蒸発乾固させて時に残る物質。	mg /	30 以上 200 以下	90
濁度	水の濁りの程度。精製水 1 中に標準カオリン 1mg を含むときの濁りに相当するものを 1 度としている。	度	給水栓で 1 以下	0.3
pH	水素イオンのモル濃度の逆数の常用対数値。pH7 は中性、7 より値が小さくなるほど酸性が強くなり、大きくなるほどアルカリ性が強くなる。		7.5 程度	6.9

